

平成 30 年度

高根沢町教育委員会点検・評価報告書
(平成 29 年度対象)



平成 30 年 8 月

高根沢町教育委員会

— 目 次 —

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検・評価の対象	
(3) 点検・評価の流れ	
2 教育委員会の活動状況	2
(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	
(2) 教育委員会会議の項目別事項	
(3) 教育委員会会議以外の活動報告	
(4) 教育委員会の活動状況等の点検・評価	
3 点検・評価報告書	8
～こども・教育・生涯学習分野～	
① 教育（知力）	
② 教育（徳力）	
③ 教育（体力）	
④ 子どもの交通安全	
⑤ 生涯学習	
⑥ 文化	
⑦ 図書館	
⑧ スポーツ	
⑨ 施設の老朽化や設備環境	
4 外部評価	17
5 参考資料	18
・高根沢町教育福祉行政基本方針	
・高根沢町教育福祉行政推進構想	
・学校教育の基本理念	
・社会教育の基本理念	

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行うこととされています。

高根沢町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の点検・評価を行い、学識経験者の意見を付して報告書を作成・公表することとしております。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、平成29年度教育福祉行政推進構想に掲げられた主要な事業の実施状況について点検・評価を行いました。

(3) 点検・評価の流れ

「教育委員会会議の活動状況」等については、教育委員会会議の開催状況や会議にかけられた議案等について、また、「点検・評価報告書」については、「平成29年度教育福祉行政推進構想」に掲げられた主要な事業の方針・内容、成果と課題を所管課が作成しました。

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する第三者からの意見を聴取し項目別に点検・評価を行いました。

なお、評価方法は、「A」・「B」・「C」の三段階で評価を実施しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

高根沢町教育委員会の会議は、毎月1回の「定例会」と、必要に応じて開催する「臨時会」があり、平成29年度は合計13回の会議を開催しました。

また、この会議において、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び高根沢町教育委員会教育長事務委任規則第2条の規定に基づき、次のとおり審議等を行いました。

期 日	会議の種 類	出 席 委員数	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
H29. 4. 12	定例会	5	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度高根沢町学校教育重点施策について □高根沢町教育委員会教育等職務代理者の指名について □指定学校変更許可及び区域外就学協議について □平成29年度就学援助の認定(継続申請分)について □平成29年度教育委員会事務局人事配置について □平成29年度「予算のあらまし」について
H29. 5. 17	定例会	5	<ul style="list-style-type: none"> ●高根沢町学校評議員の委嘱について ●高根沢町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ●高根沢町教育支援委員会委員の委嘱について □高根沢町教育委員会の学校訪問について □指定学校変更許可について □平成29年度就学援助の認定について □宝積寺中坂上土地区画整理事業の換地処分に伴う通学区域の変更について ○平成29年度総合教育会議について
H29. 6. 21	定例会	5	<ul style="list-style-type: none"> ●高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について □区域外就学許可について □平成29年度就学援助の認定について □平成28年度高根沢町図書館の事業報告並びに平成29年度事業計画について ○高根沢町図書館3館及び関連施設の指定管理について

期 日	会議の 種 類	出 席 委員数	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
H29. 7. 19	定例会	4	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 30 年度使用教科用図書採択について □区域外就学許可について □平成 29 年度就学援助の認定について □平成 29 年度とちぎっ子学習状況調査における高根沢町の結果について □阿久津小学校の水道への異物混入について □異物混入による給食の一部停止及びチーズの異臭について ○平成 29 年度夏休み！たんたん探検隊事業について
H29. 8. 23	定例会	5	<ul style="list-style-type: none"> ●平成 30 年度主要教育施策について ●高根沢町社会教育委員並びに高根沢町公民館運営審議会委員の委嘱について □高根沢町教育委員会点検・評価について □指定校変更許可及び区域外就学許可について □平成 29 年度就学援助の認定について □平成 29 年度学校情報セキュリティ監査について ○高根沢町図書館 3 館及び関連施設の指定監査について ○平成 29 年度全校学力・学習調査の結果について(速報)
H29. 9. 27	定例会	4	<ul style="list-style-type: none"> □区域外就学協議について □平成 29 年度就学援助の認定及び非認定について □平成 29 年度高根沢町中学生海外派遣事業について □平成 29 年度夏休み！たんたん探検隊について
H29. 10. 16	定例会	5	<ul style="list-style-type: none"> □指定校変更許可及び区域外就学許可について □平成 29 年度全校学力・学習調査の結果について ○平成 29 年度栃木県市町村教育委員会連合会研修会について
H29. 11. 22	定例会	4	<ul style="list-style-type: none"> ●高根沢町就学援助規則の一部改正について ●部活動を理由とする区域外就学の許可について □指定校変更許可及び区域外就学協議について □平成 29 年度就学援助の認定について □平成 29 年度高根沢町小中学校における上半期問題行動等調査結果について □運動能力向上事業「boks プログラム」について □教育的措置を必要とする児童について □阿久津小学校校庭内試掘調査の報告及び今後の対応について

期 日	会議の 種 類	出 席 委員数	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
H29. 11. 22	定例会	4	<input type="checkbox"/> 「障害者の生涯学習課支援活動」に係る文部科学大臣表彰の受賞について <input type="checkbox"/> 学力向上講演会の開催について <input type="checkbox"/> マイナンバー(個人番号)の収集について
H29. 12. 26	定例会	5	<input checked="" type="checkbox"/> 高根沢町教育委員会文書取扱規程の一部改正について <input type="checkbox"/> 平成 29 年度就学援助の認定について <input type="checkbox"/> 小規模特認校就学許可について <input type="checkbox"/> 高根沢町版コミュニティスクール「みんなの学校」導入スケジュール(案)について <input type="checkbox"/> 高根沢町立小中学校における学校支援地域本部設置について <input type="checkbox"/> 松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」について <input type="checkbox"/> 学校における食育について
H30. 1. 17	定例会	4	<input type="checkbox"/> 指定校変更許可及び区域外就学許可について <input type="checkbox"/> 教育的措置を必要とする児童について <input type="checkbox"/> 平成 29 年度高根沢町立中学校立志式出席者について
H30. 2. 14	定例会	4	<input type="checkbox"/> 指定校変更許可及び区域外就学許可・協議について <input type="checkbox"/> 学校教育法施行令第9条第1項に係る区域外就学届について <input type="checkbox"/> 平成 30 年度就学援助の認定(継続・新規申請分)について <input type="checkbox"/> 平成 29 年度就学援助の認定及び認定取消について <input type="checkbox"/> 平成 30 年度教育委員会事務局における当初予算の状況について
H30. 3. 9	臨時会	5	<input checked="" type="checkbox"/> 教職員人事の内申について
H30. 3. 20	定例会	5	<input checked="" type="checkbox"/> 高根沢町教育支援委員会規則等の一部改正について <input checked="" type="checkbox"/> 高根沢町教育委員会公文書管理規程等の一部改正について <input type="checkbox"/> 食育、地産地消推進委員会規則の一部改正について <input type="checkbox"/> 高根沢町教育支援委員会運営要綱等の一部改正について <input type="checkbox"/> 区域外就学許可及び協議について <input type="checkbox"/> 学校教育法施行令第9条第1項に係る区域外就学届について <input type="checkbox"/> 平成 29 年度就学援助の認定について <input type="checkbox"/> 平成 30 年度就学援助の認定・非認定について <input type="checkbox"/> 平成 29 年度第 2 回・第 3 回高根沢町教育支援委員会審議対象児童の就学先等について

期 日	会議の 種 類	出 席 委員数	付議案件等（●審議、□報告、○その他）
H30. 3. 20	定例会	5	<input type="checkbox"/> 平成 29 年度小中一貫教育における成果と課題及び第Ⅲ期計画について <input type="checkbox"/> 高根沢町町民体育祭の廃止について <input type="checkbox"/> 平成 30 年度教育委員会日程(案)について <input type="checkbox"/> 教育委員会事務局の組織体制の一部変更について

（２）教育委員会会議の項目別事項

高根沢町教育委員会教育長に対する事務委任規則第 2 条の規定により、教育委員会会議での議決が必要である項目のうち、平成 29 年度において教育委員会にかけられた議案等を分類し、適切に付議されているかどうか点検を行いました。

項 目	件数
① 町教育行政の運営に関する一般方針及び計画を定めること	3
② 教育委員会規則及び規程の制定又は改廃に関すること。	4
③ 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。	
④ 教育機関の設置若しくは廃止又は位置若しくは名称の変更を行うこと。	
⑤ 教育委員会の組織又は職員の人事に関する基本方針を定めること。	
⑥ 県費負担教職員の人事に関する内申の基本方針を定めること。	1
⑦ 教育長、教育委員会事務局職員及び教育機関の職員の任免を行うこと。	
⑧ 町立小中学校長の人事について内申すること。	
⑨ 職員及び県費負担教職員の研修の基本方針を定めること。	
⑩ 教育委員会所管の附属機関の委員の委嘱若しくは解職又は任免を行うこと。	5
⑪ 職員の懲戒に関すること。	
⑫ 県費負担教職員の懲戒について内申すること。	
⑬ 通学区域の設定又は変更を行うこと。	
⑭ 教科用図書の採択を行うこと。	1
⑮ 教育委員会が当事者となる訴訟、不服申立てその他の争訟に関すること。	
⑯ 指定文化財の指定又はその解除を行うこと。	
報告事項	5 6
その他	1 1
合 計	8 1

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

高根沢町教育委員会委員は、教育委員会会議への出席以外に次のとおり出席しました。

※教育長を除く

期 日	内 容	場 所	出席委員
H29. 4. 3	学校教職員辞令交付式	改善センター	岩松職務代理他 3 名
H29. 4.11	中学校入学式	町内中学校	岩松職務代理他 3 名
H29. 4.12	小学校入学式	町内小学校	岩松職務代理他 3 名
H29.6.21	総合教育会議（1回目）	改善センター	岩松職務代理他 3 名
H29.7.13	学校給食運営委員会	給食センター	岩松職務代理
H29. 9.27	総合教育会議（2回目）	改善センター	中野委員、野中委員、齋藤委員
H29. 9.27	小山文化スポーツ振興基金表彰選考委員会	改善センター	中野委員、野中委員、齋藤委員
H29.11. 8	栃木県教育委員会連合会研修会	栃木県庁	中野委員、野中委員
H29.11.22	学校訪問	中央小学校	岩松職務代理他 2 名
H29.12.20	学校訪問	東小学校	岩松職務代理他 2 名
H30. 1.14	元気あっぷーフマラソン大会	町民広場	野中委員、齋藤委員
H30. 1.17	学校訪問	阿久津中学校	岩松職務代理他 2 名
H30. 2. 2	中学校立志式	阿中・北中	岩松職務代理他 3 名
H30. 2. 2	松谷正光ドリーム事業「夢見る授業」（講師：ゴルゴ松本）	町民ホール	齋藤委員
H30. 3. 9	中学校卒業式	町内中学校	岩松職務代理他 3 名
H30. 3.20	小学校卒業式	町内小学校	岩松職務代理他 3 名
H30.3.22	学校給食運営委員会	給食センター	岩松職務代理
H30. 3.30	教職員退職辞令交付式	改善センター	岩松職務代理他 3 名
H30. 3.30	総合教育会議	役場	岩松職務代理他 3 名

(4) 教育委員会の活動状況等の点検・評価

教育委員会会議の開催及び審議内容、会議以外の活動状況について、目標（評価指標）に対する点検・評価。

項目	目標（評価指標）	外部評価	
		評価	成果（○）と課題（▲）
1 定例教育委員会	定例教育委員会には多数の教育委員が出席している。	A	○会議には 90%以上の委員が出席している。 ○多岐にわたる施策について協議されている。 ○学校訪問に積極的に参加している。
	会議では適切な意見交換が行われている。		
	学校訪問は積極的に実施している。		
2 教育委員が出席する行事	教育委員が出席する行事は、委員間で協議し、共通理解をしている。	A	○各種行事に積極的に出席している。
3 教育委員研修	教育委員の研修は、栃木県、塩谷南那須地区と連携して実施している。	A	○積極的に研修に参加し、情勢の把握と資質向上に努めている。 ▲教育委員会連合会の研修は全委員参加が望ましい。
	研修に教育委員が積極的に参加している。		
4 総合教育会議	会議には多数の教育委員が出席し、町長と積極的な意見交換・協議が実施されている。	A	○町長と積極的な意見交換・協議を行い、教育課題等の共有に努めている。

【評価方法（評定）】

- A 目標を上回り優れている。
- B 目標上にあり満足であるが改善すべき点がある。
- C 目標を下回り改善を要する。

平成 31 年度の制度開始にむけて、現在準備をすすめています。

3 点検・評価報告書

生活課題		①教育（知力）		【学校教育課】
<p>■確かな学力の育成</p> <p>実施内容</p> <p>○平成 29 年度は、「実践、そして充実へ」をスローガンに「小中一貫教育実施計画（第Ⅱ期）」に基づき取り組みを進めてきた最終年度でした。これまで同様、各種学力調査の分析に基づく学力向上対策の実施や、指導要領改定に伴う諸計画の見直しなどを実施しました。特に、小中学校の教職員の授業交流を工夫し、教員の資質向上を図る取り組みも充実させることで、児童生徒のさらなる学力の向上が図られるように工夫をしました。</p> <p>○小学校における外国語活動を充実するため、中学校で指導している ALT や中学校の英語教員を小学校に派遣し、児童が楽しみながら外国語に慣れ親しむための学習を行いました。はじめて接する ALT や中学校の先生に対してこれまでの外国語活動で身につけたコミュニケーション力や英語力を発揮しながら活動することができ、英語学習への意欲を高めることができました。</p> <p>また、小学校での外国語活動が児童にどの程度定着しているか、中学校 1、2 年生対象に生徒がどの英検レベルに達成しているかを評価できる「英語力調査」も実施しました。</p> <p>○学力調査上位の秋田県から講師を招き、小中学校教員対象の学力向上研修会を 12 月に実施しました。学力向上のための授業改善の視点や家庭と連携した取り組みの重要性など参考となる取り組みを学ぶことができ、各学校の取り組みにも反映できる研修会となりました。</p> <p>課 題</p> <p>第Ⅱ期となる「小中一貫教育実施計画」が終期を迎え、平成 30 年度から第Ⅲ期計画を策定するために、これまでの成果と課題をどのように計画に盛り込み、また、さらなる学力向上のための新たな方策を探るなど、どのように推進していくか検討が必要です。</p> <p>英語教育においては、今後学習指導要領改訂に伴い外国語が教科化されることから、今後の外国語活動の在り方について検討が必要です。</p> <p>さらには「聞く」「話す」「書く」「読む」の 4 技能の指導を ALT の活用を含め、どのように充実させていくのかについての検討も必要です。</p>				
外部 評価	評定	特に良好であった内容	小中一貫教育では授業交流など工夫し教職員の資質向上を図り、また、ALT や中学校の教員による小学校での英語学習を工夫し、学力向上に効果を上げている。	
	A	その他意見	取り組みにあたっては教職員の負担過重に留意されたい。	

■豊かな心の育成

実施内容

○望ましい人間関係づくりのため、「hyperQ-U」を全児童生徒対象に実施しました。

このテストは、学校生活意欲と学級満足度の2つの尺度で測定し、いじめ・不登校等の問題行動の予防と対策を目的としたものであり、この結果を保護者とも共有し、学校と家庭が連携協力して児童生徒の支援を行いました。（6月・11月に年2回実施）

1回目と2回目の変化の様子から、支援が必要な児童生徒の割合が減少したことが確認でき、効果的に活用されていることが確認できました。

○いじめ防止対策のため、12月の人権週間に合わせて町内一斉の「いじめ撲滅週間」を実施しました。これまで12月のみに実施していた内容を改善し、6月に個人又は学級で「いじめ追放宣言」を作成し、12月にその成果を確認し合うという年間を通じた活動に改善したことで更に充実した指導が実施できるようになりました。その他、各学校でこの時期に合わせた「あいさつ運動」や人権作文朗読、人権標語作成など、いじめを許さない雰囲気づくりを高めることができました。

■幼小連携

平成27年度に県の事業で「幼保小ジョイントプロジェクト」を本町で実施して以来、継続して実施しています。町内の幼稚園、保育園、小学校それぞれが深いつながりができていることから、幼児期から児童期に教育に携わる先生たちが同じ思いで子どもの発達や学びについて協議し、その時期に大切にしたいことを共有しています。

ブロック別に幼保小がテーマを設定しながら研究授業を行ったり、年長児が小学生の活動見学や交流を実施するなど、「子どもたち一人ひとりが自信を持つためにこの時期に大切にしたいこと」の共有を図りました。

園、学校がそれぞれ参観する場を設定することで、互いの授業や時間の過ごし方を理解したり、指導者同士の意見の交流がしやすくなったとの意見がありました。また、園児の保護者も参観や行事に参加することで学校の状況を知ることができました。

課 題

いじめ防止対策推進法や普通教育機会確保法の成立など、児童生徒を取り巻く環境が変化する中、本町のいじめや不登校等の未然防止対策や学校に行けない子どもの支援策について、関係機関と連携しながら見直しを図ると共にさらなる充実を推進する必要があります。

幼小連携については小中一貫教育との連継を図ることで、0歳から15歳までの連続した教育の充実を図っていく必要があります。

外部 評価	評定	特に良好であった内容	「hyperQ-U」を活用したきめ細かやかな指導は特筆に値し非常に効果的である。幼小連携も継続して取り組んでいる。
	A	その他意見	近年、中学生のいじめが悪質・巧妙化しているので関係機関と連携しながら対策に取り組んでほしい。

■健康な体づくりの推進

実施内容

○運動好きな児童を育て、健康な体づくりと運動能力の向上を目指して、小学校の体育科の授業に、運動能力に関わらず全ての子どもが楽しめる「BOKSプログラム」を取り入れました。

中央小学校の6年生と1年生を中心に実践を行ったところ、運動の苦手な児童も体を動かすことを楽しんでいる様子が見られました。また、運動量も豊富で全ての児童が時間いっぱい元気に体を動かしていました。

本事業の前後にアンケート調査を実施したところ、運動に対する自信（運動有能感）が向上したことがわかりました。これにより、BOKSプログラムを取り入れた授業は、運動有能感を高める上で効果的であったといえると思われまます。中でも、運動を苦手と感じていたり自信がもてなかったりする児童に対して効果的だったという結果がでました。このことから、運動を苦手と感じている児童に対して、内発的に動機づける手がかりが得られたと考えられます。

課題

外部の指導者を委託したことにより専門的な授業を受けることができました。今後は体育科と担当している教師がこれらの実践を理解し授業に取り入れていく必要があります。また、多くの児童にBOKSプログラムを経験させるためにも、計画的に予算化していく必要があります。

■食育推進事業

実施内容

○地産地消の取組のひとつである学校給食町内産利用拡大事業については、給食用食材のうち、野菜穀物類は町内産を積極的に使用しました。（主な食材）米、トマト、なめこ、いちご、マイタケ、干し椎茸、生椎茸、きくらげ、味噌（100%）、春菊（93%）、大豆（82%）、ねぎ（82%）、豆腐（69%）、なす（63%） 【重量（kg）ベースでの町内産使用率は、55.3%】

○地場産物の生産者や提供者との交流により、食べ物や関係者への感謝の気持ちを深めるため「生産者とのふれあい給食」を、町内全小学校及びひよこの家で実施した。生産者等37名を招いて児童といっしょに教室で給食を食べました。また、11月7日の「お弁当の日」を実施するにあたり、11月3日に「お弁当づくり教室」を阿久津小学校において開催しました。

さらに、食物アレルギー特定材料29品目をカットした「みんなが食べられる給食：ハートカレー」を7月と12月の2回提供しました。今年度は飲み物のアレルギーにも対応し、保護者から感謝の手紙が届くなど、非常に好評でした。

課題

「食育地産地消推進行動計画」を新たに策定し、町内の生産者の声を聞きながら、今後どのように推進していくかを検討していきます。

外部評価	評定	特に良好であった内容	BOKSプログラムを活用するなどして運動好きな子どもを育て、教科体育の工夫・改善に努めている。
	A	その他意見	小中一貫教育を活用して発育・発達段階に応じた指導内容について研究されたい。また、小学校におけるラジオ体操を積極的に取り入れてほしい。

■交通安全教育・学校安全体制の充実

実施内容

○町と包括連携協定を締結した「セキスイハウス宇都宮支店」による、小学校1年生を対象とした「交通安全講話」が全小学校で実施されました。事故で車いす生活となった不動産会社社長を講師に迎え、事故により障害を持った人のために専用スペースを空けておくことの大切さ等について体験談をもとに、分かりやすい講話をしていただきました。

(平成29年12月1・7・8日に、小学校6校242名対象)

○中学生の登下校時における自転車の走行状況について、町民の方から「中学生が自転車で並列走行して危険だ」といった苦情の連絡が入る時があります。中学校は、指摘を受けた場所に立って指導するなどの対応をしていますが、定期的な自転車走行に関する指導が必要です。

○夏休み・冬休みの長期休業中に、防災無線を活用して、交通安全や防犯について児童生徒がアナウンスし、広く町民に対して周知を図りました。(夏休みは小学生、冬休みは中学生)

『小中学生の皆さん。もうすぐ5時になります。みんなでルールを守り、安全に家に帰りましょう。地域の皆さん。私たちが安全に家に帰れるよう見守ってください。』

課 題

○中学生の自転車走行に対する町民の方からの苦情の電話が教育委員会に年に数回あります。

「並列走行をして危険なので注意しても言うことをきかない。子供を事故に遭わせたくないし、加害者になりたくない。」といったご指摘を受けます。

この連絡を学校に伝え、中学校では翌朝から指摘された場所で教員が登校指導にあたっていますが、自転車の安全走行指導を定期的に行ったり、また保護者にも協力依頼するなど、徹底した対応が必要です。

外部評価	評定	特に良好であった内容	小学1年生を対象とした講話は早い段階からの交通安全に対する意識づけを図るうえで効果的な取り組みである。
	B	その他意見	中学生の自転車通学については、並進走行の危険性や他者への影響等を考え、自らの問題として生徒会などで真剣に話し合い、全生徒が具体的に取り組むことを望みたい。 また、「交通安全」という枠ではなく「学校安全」として熱中症対策などに取り組む必要があるのではないか。

■学びと人材育成事業

実施内容

様々な活動や体験をとおして青少年の健全育成を図るとともに、日頃から生涯学習に取り組んでいる地域の人々の教えの場・交流の場の機会を提供し、生涯学習の推進を図りました。

また、未婚の男女の出会いの場を提供するための結婚推進イベントや、男女共同参画の推進に関する講演会を実施しました。

【H29 主な実績】

◇「夏休み！ たんたん探検隊」

期間：H29.7.22～H29.8.27 講座数：106 講座

参加者：延べ 2,375 名（前年度対比 +214 名）

◇「松谷正光ドリーム基金事業 『夢見る授業』」

実施日：H30.2.2 講師：ゴルゴ松本 参加者：中学 1・2 年生とその保護者等 676 名

◇「中学生海外派遣事業」

期間：H29.8.20～8.25 場所：フィジー共和国 参加者：20 名（中学 2 年生）

◇「みんなの学び場」（現代的課題に即した 7 講座）

実施月：H30.2 参加者：延べ 89 名

内容：「高根沢音頭」、「宇津救命丸」、「しもつかれと焼ちゃんぼん」、「鬼怒川と五行川の歴史」、「コーヒーの楽しみ方」、「My 工具箱作り～家族の頼れる大工さん～」、「知っておきたい在宅医療と終活 健康寿命アップの秘訣～ロコトレ～」

◇「ちょっ蔵コン in たかねざわ」

実施日：H30.1.28 場所：元気あつぷむら 参加者：未婚の男女 38 名

◇男女共同参画講演会「女性疾患に対する漢方療法について」

実施日：H30.2.24 講師：柏渕成一（かしわぶち産婦人科 院長） 参加者：52 名

課 題

町民の方々が、自己啓発や自己研鑽をとおして豊かな人生を起こることができるよう、様々なニーズを機敏に捉え、学びの機会をタイムリーに提供して行くことが課題です。

また、地域の力を各学校の教育現場で活かす「学校支援地域本部」の組織化に継続して取り組んで行き、平成 31 年度には全小中学校で本部が運営できるようにします。

外部 評価	評定	特に良好であった内容	町民が学ぶ楽しみを得られるよう多種多様な事業を展開しており、参加者も増加傾向にあり、素晴らしい取り組みである。
	A	その他意見	未婚の男女の出会いの場と機会を積極的に提供してほしい。

■歴史・文化振興事業

実施内容

町民の方々が、文化・芸術を学べる講座や歴史に触れる機会に係る事業の実施、文化・歴史に係る団体の育成支援及び活動内容の情報提供を行いました。

また、歴史民俗資料館の企画展や町民ホールの自主事業において、本町ゆかりの芸術家や文化関係者の活動を顕彰し、地域の活性化と文化意識の高揚を図りました。

【H29 主な実績】

◇いきいき教室

開催数：9回「パステルアート」、「風鈴絵付け」、「体力テスト」、「ペタンク教室」、「調理実習」など

開催場所：図書館中央館・仁井田分館、改善センター 参加者：延べ307名

◇吹奏楽講座（高根沢ウインズオルケスタ）

開催日：H29.4～毎週1回 講師：小池春男、佐藤和男 登録者：25名

演奏会：町民ホール自主事業出演、町文化祭、西小金管バンド部との合同コンサート、町内イベント

◇歴史民俗資料館

企画展開催：13回「おもちゃ展」、「仏像展」、「Honda展」など 入館者：13,618名

◇町民ホール自主事業

- ・『ブラウン・ブレスト・ヴォイス ゴスペル・ライブ』

開催日：H29.6.4 入場者：461名 ワークショップ参加者65名、吹奏楽講座17名出演

- ・子ども向け映画会『ドラえもん』 上映日：H29.9.10 入場者：303名

- ・落語公演『林家たい平・林家三平 二人会』

開催日：H30.1.28 出演者：林家たい平、林家三平ほか 入場者：613名

- ・吹奏楽コンサート『プラスコンサート2018』

開催日：H30.3.4 入場者数：400名

吹奏楽講座「高根沢ウインズオルケスタ」と西小金管バンド部の合同コンサート

- ・阿中吹奏楽部、阿小金管バンド部 定期演奏会の支援

開催日：阿中 H29.10.15、阿小 H30.3.11

課 題

本町の歴史・文化や地域芸能は、町への愛着を高めるための貴重な資源です。様々な学習や体験をとおして、町への愛着を醸成する事業を展開して行くことが課題です。

平成30年度は、文化・芸術や歴史に触れる機会場の場として、烏山線沿線の魅力を紹介する企画展「烏山線縁路」や町内外で活躍するお囃子保存会の「お囃子コンサート」、「文化財めぐりバスツアー」などを開催し、町内外に本町の魅力を発信して行きます。

外部評価	評定	特に良好であった内容	歴史民俗資料館の企画展は専門性・地域性が高い素晴らしい取り組みである。
	A	その他意見	高齢者が気軽に参加できる事業があるとよい。 吹奏楽の活躍に対し、今後「音楽の町」を目指す意気込みで継続的に支援してほしい。

■図書館利用者推進事業

実施内容

指定管理者制度を活用し、図書館及び関連施設の管理運営を指定管理者に委託しています。指定管理者と協議しながら、運営の効率化を図るとともに、利用者へのサービスの向上や読書活動の推進を図っています。

また、図書館及び関連施設の環境を整えるため、施設の改修工事を実施しました。

【図書館の利用状況】

◇貸出冊数：456,941点 入館者数：155,635人

【施設の改修状況】

◇図書館及び関連施設の改修工事 合計：2,665千円

工事概要：図書館中央館空調機更新工事、仁井田体育館ガラスフィルム貼り工事、仁井田分館図書室エアコン改修工事、自動体外式除細動器工事 など

課 題

町民一人あたりの高い貸出冊数を維持しながら、今後も本町の情報拠点施設として、だれでも利用しやすい図書館づくりを推進して行くことが課題です。

また、平成30年度から指定管理者の新たな委託期間（5年間）が始まったので、指定管理者と連携して、本町の読書活動の推進が図られるように進めていきます。

外部評価	評定	特に良好であった内容	町民一人あたりの貸出冊数が県内一位を維持するなど、利用しやすい図書館として積極的に取り組んでいる。
	A	その他意見	図書館のさらなる充実を図るため、展示の工夫などの環境整備が望まれる。駐車場の充実を望む。

■生涯スポーツ推進事業

実施内容

町民の方々の健康・体力の保持・増進を図るため、誰もが参加しやすく楽しめる内容のスポーツ教室やスポーツイベントを開催しました。

また、町体育協会のスポーツ教室や総合型地域スポーツクラブ等の団体の支援及び活動内容の情報提供を行いました。

【H29 主な実績】

◇第 60 回町民体育祭球技大会

『ソフトボール大会』 雨天のため中止

『女性ソフトバレーボール大会』

実施日：H29.11.5 会場：北高根沢中学校体育館 参加者：93 名

『ミニサッカー大会』

実施日：H29.12.10 会場：町民広場 参加者：91 名

◇第 60 回町民体育祭 実施日：H29.10.8 会場：町民広場 参加者：約 750 名参加

◇スポーツレクリエーション大会

実施日：H29.9.24 会場：農業者トレーニングセンター、改善センター

種目：ソフトバレーボール、ショートテニス・ビームライフル、スポーツ吹き矢、ラージボール卓球、室内ペタンク、さいかつぼーる体験 など

◇第 45 回元気あっぷハーフマラソン大会（日本陸連公認）兼長距離走大会

実施日：H30.1.14 会場：町民広場など 参加者：2,994 名

◇ペタンク交流大会 雨天のため中止（実施日：H29.5.27 会場：町民広場）

◇ウォーキング大会 実施日：H29.11.25 コース：元気あっぷむら～大森果樹園（往復 12 km） 参加者：43 名

課 題

町民の方々の健康・体力の保持・増進を図るため、誰もが気軽に楽しめるスポーツイベントの開催やスポーツの推進を図って行くことが課題です。

なお、町民体育祭については廃止し、球技大会は「公民館対抗球技大会」として継続することになりました。町民体育祭に変わるスポーツイベントとして、お年寄りから子どもまで参加ができ、町民のスポーツ推進と健康増進が図れるようなイベントを平成 30 年度に検討いたします。

外部評価	評定	特に良好であった内容	元気あっぷハーフマラソン大会の参加者が年々増え、充実した素晴らしい大会となっており、その運営は参加選手から好評を得ている。
	A	その他意見	元気あっぷハーフマラソン大会の活性策として、沿道の応援を増やすよう工夫してほしい。また、町民体育祭の終了に伴い、町民が一堂に会する機会が減少することから、町の活性化を図るためにも新たなイベントについて前向きに検討されたい。

■計画的な児童福祉・学校教育施設改修事業

実施内容

- 児童福祉施設は、公立保育園の保育室及び給食室のエアコン増設工事や、木製遊具の撤去、遊具の新規設置工事など、児童の安全や保育に影響が生じないように早急な対応を図りました。（事業費 4,381 千円）
- 小学校 5 校に、「エアコン」を整備しました。（10 年リースによる対応）
- 東小学校は、平成 30 年 7 月末の完成に向けて工事を進めています。平成 29 年度末の進捗状況は、計画 67.21%に対して実績 66.88%でした。（事業費 586,182 千円）
- 北高根沢中学校は、平成 28 年度の繰越事業として、壁面改修、屋上防水等の大規模改修工事を実施しました（事業費 275,907 千円）
- 小中学校施設は、防護柵の設置、消防設備改修、遊具の改修工事など、児童生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう対応を図りました。（事業費 22,804 千円）

課 題

老朽化に伴い校舎等の建物や設備で改修が必要な箇所が数多くあることから、改修する箇所を特定し、いつ頃までにどこを整備すべきかをまとめることが必要です。しかし、校舎等の改修には、莫大な予算が必要となるため、町の財政計画の状況を鑑みながらの対応となります。

■安全で安心な社会教育施設改修事業

実施内容

施設利用者が、安全・安心して施設を利用できるよう施設改修工事を実施しました。

- ◇野球専用球場内外野フェンス等改修・コンクリート壁塗装工事 4,320 千円
工事概要：内外野フェンスの撤去新設及びバックスクリーン塗装（3,024 千円）、コンクリート壁劣化亀裂による雨水浸入対策塗装（1,296 千円）
- ◇町民ホール外部通路改修・大道具搬入ロースチールドア改修工事 2,311 千円
工事概要：外部タイル剥がれによる雨水浸入対策（1,134 千円）、既存スチールドアの改修（1,177 千円）
- ◇高根沢町図書館中央館 空調機更新工事 1,121 千円 工事概要：空調機の更新
- ◇町民広場浄化槽ブロワー工事 1,144 千円 工事概要：町民広場の浄化槽ブロワーの更新

課 題

建築後 30 年以上経過している施設が多数あり、施設利用者が安全で安心して利用できるよう、計画的に施設の改修を行うことが課題です。

平成 30 年度は、経年劣化した情報の森テニスコートの改修工事を行います。

外部 評価	評定	特に良好であった内容	学校にエアコンが整備され、猛暑の中でも快適に過ごせるようになったことは非常によかった。
	A	その他意見	東小学校の跡地利用については、地域住民の意見を伺いながら有効活用できるよう検討してほしい。

4 外部評価

(1) 点検・評価委員

氏名	役職
菅谷 薫	元教育委員会委員長
小林 幸代	元小学校長

(2) 聴取日等

平成30年 8月20日(月) 場所：改善センター研修室

(3) 評価のまとめ

<p>◇教育委員会の活動状況等について 【評価判定： A】</p> <p>[報告書に加え、別途資料を基に説明し、委員の点検による評価]</p>	
<p>ア 特に良好であった内容</p> <p>多岐にわたる教育施策について、定例会や総合教育会議において、積極的な協議や意見交換がなされている。</p>	
<p>イ その他意見</p> <p>教育委員会連合会の研修は全委員参加してほしい。</p>	<p><対策></p> <p>事務局で早めに日程調整を行うこと。</p>
<p>◇点検・評価報告書 学校教育 【評価判定： A】</p> <p>[報告書に加え、別途資料を基に説明し、委員の点検による評価]</p>	
<p>ア 特に良好であった内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育基本計画・実施計画に基づいて学力向上に取り組み、効果を得ている。 ・ALTや中学校教員を小学校に派遣し、英語力の向上に取り組み、効果を得ている。 	
<p>イ その他意見</p> <p>発育・発達段階に応じた体育・スポーツ指導についての工夫・研究。</p>	<p><対策></p> <p>小中一貫教育を活用すること。</p>
<p>社会教育 【評価判定： A】</p> <p>[報告書に加え、別途資料を基に説明し、委員の点検による評価]</p>	
<p>ア 特に良好であった内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館における地域の活性化と文化意識の高揚を図る企画展の開催。 ・利用しやすい図書館として、町民一人あたりの貸出冊数が県内一位を維持。 	
<p>イ その他意見</p> <p>元気あっぷハーフマラソン大会の沿道での応援</p>	<p><対策></p> <p>地域住民へのPRに努めること。</p>

[評価判定] A：特に良好、B：概ね良好、C：改善を要する

I 高根沢町教育福祉行政基本方針

変動する社会情勢の中で、教育に対する時代の要請や町民の期待が増大し、多様化するとともに教育の果たす役割がますます重要視されている現在、生涯教育の観点から、学校・社会を通じて、総合的に教育諸条件を整備し、教育の機会均等を図るとともに、心の豊かさと創造性に富む人づくりを、より積極的に推進することが課題となっている。

本町においては、これらの課題を踏まえ、栃木県教育行政基本方針をもとに、人間尊重の精神を基盤として、教育福祉行政を総合的に推進する。

推進にあたっては、教育委員会をはじめ、文部科学省・県教育委員会・各種団体等の関係教育機関と連携を図るとともに、町民のニーズを取り入れながら諸施策の実現に努める。

II 高根沢町教育福祉行政推進構想

人間尊重の精神を基盤として、明るく健康で、豊かな情操をそなえ、郷土の自然と文化を愛するとともに、心豊かで、創造性・実践力に富む町民の育成をめざす

- ◎ 町民が自ら学び、その学んだことを活かすことのできる人づくりの推進
- ◎ 心豊かでたくましく、創造性に富む児童生徒を育成する活力と創意ある学校づくりの推進
- ◎ 健やかで豊かな心身をつくるスポーツ活動の推進

～学校教育・教育環境の充実～

- 確かな学力の育成
- 豊かな心の育成
- 健康な体づくりの推進
- 特別支援教育の推進と不登校対策の充実
- 安全・安心な学校づくり
- 地域に開かれた学校づくり

～子育て支援策の充実～

- 子育て支援サービスの充実
- 子育て支援に関する支援
- 子育て家庭等における各種給付及び助成事業

～生涯学習環境の充実～

- 学びと人材育成事業（青少年健全育成事業、学びの事業、男女共同参画事業）
- 歴史・文化振興事業（地域文化活動推進事業、郷土資源・文化財活用事業、地域コミュニティ活動推進事業、町民ホール自主事業）
- 図書館利用者推進事業
- 生涯スポーツ推進事業（スポーツ教室・講座開催事業、スポーツイベント開催事業、元気あっぷハーフマラソン大会開催事業）
- 安全で安心な社会教育施設改修事業

学校教育の基本理念

高根沢町を愛する子どもを育てます

1 学校教育の方針

本町の教育行政基本方針及び人権教育方針等へのとおり、生涯教育の基礎基本を培う観点に立ち、21世紀を担う児童生徒の育成を目指して、人間尊重の教育を基盤とし、社会の変化に主体的に対応できる、心豊かでたくましく、創造性・実践力に富む児童生徒の育成を推進する。

2 学校教育の目標

小中一貫教育と ICT 教育の推進による

「生きる力」の育成

(1) 確かな学力の育成

- ア 系統的な学習指導の充実
- イ 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- ウ 情報教育の充実 (ICT 教育の推進)
- エ 英語教育の充実 (教育課程特例校制度)
- オ 総合的な学習の時間の充実
- カ 小学校第6学年での教科担任制の実施

(2) 豊かな心の育成

- ア 道徳教育の充実
- イ 読書活動の推進
- ウ 望ましい人間関係づくりのための活動の充実
- エ 地域との連携による体験活動の充実
- オ 系統的なキャリア教育の推進
- カ 児童・生徒指導の充実
- キ 人権教育の推進

(3) 健康な体づくりの推進

- ア 教科体育の充実
- イ 体力の向上
- ウ 保健教育の充実
- エ 食育の充実 (食に関する指導)

(4) 特別支援教育の推進と不登校対策の充実

- ア 特別支援教育の充実
- イ 特別支援教育体制の整備
- ウ SCによる教育相談の充実
- エ SSWによる福祉的支援の充実
- オ フリースペース「ひよこの家」の運営

(5) 安全・安心な学校づくり

- ア 学校施設の計画的整備
- イ 学校安全体制の整備
- ウ 交通安全教育の推進

(6) 地域に開かれた学校づくり

- ア コミュニティースクールの推進
- イ 開かれた学校づくりの推進
- ウ 学校評価の充実
- エ 小規模特認校制度の充実

高根沢町小中一貫教育

第Ⅱ期のテーマ 「実践、そして充実へ」

- (1) 小中一貫教育で目指す児童生徒像
自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童生徒
- (2) 小中一貫教育のねらい
 - ① 確かな学力の向上
 - ② 豊かな心や社会性の育成
 - ③ 健やかな体の育成
- (3) 重点内容 (第Ⅱ期)
 - ① 系統性、連続性を意識した授業の充実
 - ② 英語教育の充実
 - ③ 望ましい人間関係づくりのための取組の充実
 - ④ 健康教育の充実
 - ⑤ キャリア・特別支援教育の充実



▲中学校 ALT による小学校での国際交流集会

高根沢町幼小連携事業

スローガン「食べて、動いて、よく寝よう」

- (1) 目的
高根沢町における幼稚園・保育園と小学校との連携を推進し、幼児期の教育と小学校教育の滑らかで確実な接続を図る。
- (2) ねらい
 - ・ こどもの学びの連続性
 - ・ 保護者支援の充実
 - ・ 教職員の資質向上



▲小学生による保育園でのダンス交流

3 努力点と具体化の視点

重点	努力点	具体化の視点
確 か な 学 力 の 育 成	ア 系統的な学習指導の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科「小中一貫教育指導計画」の実施と改善 ○各種学力調査の分析と学習指導への活用 ○チームティーチングや少人数指導による指導の工夫改善 ○児童生徒の学習意欲を喚起する教材・教具の工夫 ○学校や地域、児童の特色を生かした学習指導の工夫 ○発展的内容や学習の定着を図る工夫と学習時間の確保
	イ 基礎的基本的な知識・ 技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の確実な定着を図る授業の実践 ○家庭学習の充実（手引き、強調週間の活用）
	ウ 情報教育の推進 （ICT教育の推進）	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT教育の推進とそれに伴う機器の整備 ○教職員の資質能力の向上と教育機器の積極的活用 ○情報モラル等に関する指導の充実
	エ 英語教育の充実 （教育課程特例校制度）	<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育による系統的・継続的な英語教育の実施 ○小学校外国語活動の実施（低 10、中 20、高 35 時間の実施） ○小学校へのALT配置によるコミュニケーション能力の育成 ○中学校へのALT配置による外国語科授業の充実
	オ 総合的な学習の時間の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に「探究」するための活動の実践 ○「地域」に焦点を当てた学習課題の設定と実施 ○地域・学校・児童生徒の実態に応じた活動計画の作成 ○体験活動の積極的な実施
	カ 小学校第6学年での 教科担任制の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○教科担任制を取り入れた専門的な教科指導の実施

重点	努力点	具体化の視点
豊 か な 心 の 育 成	ア 道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動全体を通じた道徳教育の推進 ○「道徳の時間」における指導の充実 ○道徳教育に関する校内研修の充実 ○小中一貫による人権意識を高めるための授業の実施
	イ 読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○読書の推進（「毎日10分以上の読書」の実践） ○学校図書館の充実
	ウ 望ましい人間関係づくりのための活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校間、小中学校間での交流活動の実施 ○中学校第1学年での学級づくりの充実 ○hyperQUによる児童生徒理解と適切な支援
	エ 地域との連携による体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携した体験活動の実施 ○地域の行事への積極的な参加
	オ 系統的なキャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫キャリア教育全体計画の実践 ○職場体験（中学生マイ・チャレンジ事業）の充実 ○「夢の教室」事業の実施（小学校5年生） ○一人一人の勤労観、職業観を育むための体験活動の充実
	カ 児童・生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○小中連携による児童・生徒指導の推進 ○学業指導の充実と児童生徒との信頼関係の確立 ○いじめ・不登校への適切な対応（未然防止・早期発見・早期対応） ○教育相談体制の充実（SC・SSWの活用） ○要保護児童対策地域協議会の充実 ○幼小連携事業の推進
キ 人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ運動の継続実施 ○人権教育実践上の課題の明確化と指導体制の充実 ○現職教育など教職員の研修・研究体制の改善・充実 	

重点	努力点	具体化の視点
健康な体づくりの推進	ア 教科体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○健康な生活に対する実践的な能力・態度の育成 ○新体力テストの結果の分析と体育での取り組み強化 ○運動量を確保した授業展開の工夫
	イ 体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい生活リズムの形成 ○運動に親しむ資質や能力の育成（BOKS プログラムの実施） ○運動の日常化の奨励 ○運動部活動（中学校）の充実
	ウ 保健教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○「小中一貫教育学校保健計画」の実施
	エ 食育の充実 （食に関する指導）	<ul style="list-style-type: none"> ○「小中一貫食育全体計画」の実施 ○学校給食指導及び「お弁当の日」実施による食指導の充実 ○学校給食における地産地消の推進

重点	努力点	具体化の視点
特別支援教育の推進と不登校対策の充実	ア 小中連携による特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○小中の連携による特別支援教育の推進 ○特別支援教育推進計画による特別支援教育の推進
	イ 特別支援教育体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の支援教室の充実 ○教育相談体制の整備と教育支援体制の充実 ○南那須特別支援学校との連携と研修の充実
	ウ スクールカウンセラーによる教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒・保護者への教育相談の実施 ○教職員を対象としたコンサルテーションの実施
	エ スクールソーシャルワーカーによる福祉的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の収集と早期対応 ○「不登校」や「ひきこもり」がちな児童生徒への対応 ○関係諸機関との連携及び福祉的支援の充実
オ フリースペース「ひよこの家」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ○個を尊重した居がい感のある集団づくり ○教育相談活動の充実（個別の支援策の検討） ○生きる力をはぐくむ体験的活動の実践 ○学校との密な情報交換と連携 	

重点	努力点	具体化の視点
安全・安心な学校づくり	ア 学校施設の計画的整備	○学校教育施設改修計画に基づく計画的な改修・改築 ○学校施設・設備の安全点検の実施 ○危機管理・防犯対策の充実 ○教育環境の整備の充実（エアコンの導入）
	イ 学校安全体制の整備	○スクールバスによる遠距離通学者の安全確保 ○各小学校ごとのスクールガードの設置 ○少年指導員によるいきいきパトロールの実施 ○防災無線やによる地域安全意識の高揚 ○こども 110 番の家の設置と連絡調整 ○緊急時メールシステムによる保護者との連携
	ウ 交通安全教育の推進	○登下校時の防犯ブザーの携帯 ○交通事故防止のための指導の徹底

重点	努力点	具体化の視点
地域に開かれた学校づくり	ア コミュニティースクールの推進	○コミュニティースクール推進のための学校支援
	イ 開かれた学校づくりの推進	○学習活動・体験活動における地域人材の積極的な活用 ○地域に向けた施設の開放と学校情報の積極的な発信 ○地域の特色を生かした学校教育活動の展開 ○学校支援ボランティアの活用
	ウ 学校評価の充実	○自己評価、学校関係者評価の充実 ○評価結果の公表 ○学校改善に役立てる学校評価システムの整備
	エ 小規模特認校制度の充実	○小規模特認校制度充実のための学校支援

Ⅷ 社 会 教 育

社会教育の基本理念

「未来につながる 人づくり まちづくり」

1 社会教育の方針

本町のまちづくりの基本理念である「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」を受けて、全ての町民が生涯学習・スポーツ・男女共同参画等に関する学びを通して、個々の個性と能力を十分に発揮しながら、豊かな人生を送り、今を生きる人づくり、そして未来に引き継ぐ人づくりを目指す。

また、個々人が学びを活かし、伝えることを通して、一人ひとりが主役となって活力に満ちたまちづくりを目指す。

2 社会教育の基本目標

「学ぼう！活かそう！生涯学習」

学びと人材育成事業

青少年健全育成事業

学びの事業

図書館利用者推進事業

歴史・文化振興事業

地域文化活動推進事業

郷土資源・文化財活用事業

地域コミュニティ活動推進事業

町民ホール自主事業

安全で安心な社会教育施設改修事業

- ・みんなで子どもを育てよう
- ・共に学び、高めあおう
- ・図書館を利用して本に親しまおう

- ・文化芸術を学ぼう
- ・文化財を受け継いでいこう
- ・地域のつながりを深めよう
- ・文化芸術を観て・聴いて・感じよう
- ・施設を活用してみんなで学ぼう



「スポーツを楽しもう！」

生涯スポーツ推進事業

スポーツ教室・講座開催事業

スポーツイベント開催事業

元気あっぷハーフマラソン大会開催事業

各種団体支援事業

- ・スポーツを楽しもう！
- ・スポーツで心身を鍛えよう！



「お互い認め合ってグッドパートナーに」

男女共同参画事業

- ・お互いを認めて分かり合う
- ・女性の力を活かそう
- ・結婚って、楽しいよ
- ・DV・虐待をなくそう



基本目標・施策

基本目標1 「学ぼう！活かそう！生涯学習」

学びと人材育成事業

1 青少年健全育成事業

- ・みんなで子どもを育てよう

高根沢町を担う若者を育てるため、小中学生を中心とした青少年を対象に、社会体験・生活体験・自然体験などや交流を重視した事業や、特色ある地域の活動を行っている団体に対して補助をするなど、青少年の健全な育成のための事業の充実に努める。



2 学びの事業

- ・共に学び、高めあおう

各年代（青少年・成年・親世代・高齢者）に合った学習内容を計画し、講師を招くなどして専門性を重視した講座や、指導者の育成など、誰に・どこで・何を学ぶか・学んだことをどう活かすかといった視点で学習機会の充実に努める。



図書館利用者推進事業

- ・図書館を利用して本に親しもう

誰もが利用しやすい図書館づくりを推進し、地域や様々な世代の方々に役立つ図書館づくりを進める。



歴史・文化振興事業

1 地域文化活動推進事業

- ・文化芸術を学ぼう

青少年・成年・親世代・高齢者などの幅広い年代層が、文化芸術を学べる講座を開設したり、歴史にふれあう機会を提供したりする。また、文化協会や各種団体を支援し、連携しながら活動の充実に努めたり、地域に残る伝統芸能や祭り、民話、工芸などの伝統文化を後世に引き継ぐために、その保存団体や継承者を支援したりする。



2 郷土資源・文化財活用事業

・文化財を受け継いでいこう

歴史民俗資料館の企画展を充実させ、郷土資料などを活用して歴史にふれる機会を設定し、町民の文化教養を高めていく。また、地域の文化遺産などの保護・活用や町ゆかりの芸術家の顕彰などを行っていく。



3 地域コミュニティ活動推進事業

・地域のつながりを深めよう

地域の人々の意志が反映された活動の中で様々な世代がつながることを通して、郷土への愛着心を育むことができるように、地域のコミュニティ活動を支援し、生活文化のより一層の向上に努める。



4 町民ホール自主事業

・文化芸術を観て・聴いて・感じよう

本町ゆかりの芸術家などの活動の顕彰や、薰り高い文化芸術公演、地域文化・芸術活動への支援などを行い、町民の文化の高揚や地域の活性化を目指す。



安全で安心な社会教育施設改修事業

・施設を活用してみんなで学ぼう

生涯学習施設及びスポーツ施設等で、大規模改修が必要なもの、緊急改修が必要なものを常時確認し、計画的に対応していく。

そして、各生涯学習・スポーツ施設について、どこにどのような施設があるのかを広報し、活用促進を図っていく。また、使いやすく、利用しやすい施設となるよう、施設利用システムを充実させていく。



基本目標2 「スポーツを楽しもう！」

生涯スポーツ推進事業

1 スポーツ教室・講座開催事業

「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも楽しめる生涯スポーツ」を推進するため、ニュースポーツなどを取り入れ、誰もが参加しやすく楽しめる教室や講座を開催していく。



2 スポーツイベント開催事業

地域住民の交流と町民の心身の向上を図るため、町民体育祭を開催し、競技種目については、誰もが参加しやすい内容を検討していく。また、ニュースポーツや気軽に参加して楽しめるスポーツ・レクリエーション大会を開催する。



3 元気あっぱ!ハーフマラソン大会開催事業

大会のレベルアップを図り、参加者の体力増進を行っていく。また、東京マラソン「RUN as ONE-Tokyo Marathon 準エリート（国内）」と提携協定を行い、東京マラソンへの出場枠を確保するなど、魅力ある大会にしていく。



4 各種団体支援事業

町内で活動する団体（町体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ）が主体的に活動及び運営できるように支援する。また、各種スポーツ指導者の育成と資質の向上に努め、町民の競技力と心身の向上を図っていく。



基本目標3 「お互い認め合ってグッドパートナーに」

男女共同参画事業

- お互いを認めて分かり合う

今までの男女の役割に基づく意識や制度、慣行にとらわれずに生活できるまちづくりを目指す。夫婦やこれから結婚する人たちなどを対象に男女共同参画の啓発活動を行う。また、男性が家事・育児・介護等に参加しやすくするための取り組みを進める。

- 女性の力を活かそう

家庭生活と職業生活が両立され、女性が各々の個性と能力を存分に発揮できることを目指して、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（通称「女性活躍推進法」）に基づいた取り組みを進める。

また、防災・復興に関し、女性への配慮やプライバシーの保護などの課題について意思決定や災害対応に女性の力を発揮できるように進める。

- 結婚って、楽しいよ

結婚についての理解を進め、文化・芸術、スポーツ等を通して、未婚男女が出会うための交流の場の提供や応援事業を行う。

- DV・虐待をなくそう

DV や虐待を予防するための啓発・教育を推進するとともに、早期発見のためのコミュニティの強化を図る。また、悩みを持った人々や被害者を支援できる体制づくりを整える。